

(お知らせ)

令和元年9月1日
防衛省

令和元年8月の前線に伴う大雨に係る災害派遣について (12時00分現在)

※数値等は速報値であり、今後変わることがある。
※下線部は、前回報告からの変更箇所

1. 概要

令和元年8月の前線による大雨に伴い、8月28日(水)08時04分、佐賀県知事から陸上自衛隊西部方面混成団長に対し、航空機による情報収集及び人命救助等に係る災害派遣要請があった。

2. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 活動部隊
- | | |
|----|---|
| 陸自 | 西部方面特科連隊第4大隊(久留米)、第4通信大隊(福岡)、第4偵察戦闘大隊(福岡)、第4高射特科大隊(久留米)、第4後方支援連隊(福岡)、西部方面混成団(久留米)、第4飛行隊(目達原)、九州補給処(目達原)、第4師団司令部(福岡)、第16普通科連隊(大村)、第41普通科連隊(別府)、西部方面ヘリコプター隊(目達原)、 <u>西部方面システム通信群(健軍)</u> 、 <u>西部方面後方支援連隊</u> 、自衛隊長崎地方協力本部、自衛隊佐賀地方協力本部 |
| 海自 | 佐世保地方隊(佐世保) |
| 空自 | 新田原救難隊(新田原)、西部航空方面隊(春日、高良台) |

(2) 主な対応状況

①全般

【28日(水)】

05時44分 防衛大臣の指示。

- 1 自治体及び関係省庁と連携し、避難や大雨・河川の状況等について情報収集に努めること。
- 2 被害が発生した場合に備え、万全な準備態勢を確立すること。
- 3 今後の状況推移に的確に対応し、人命最優先で災害対応に万全を期すこと。

08時04分 佐賀県知事から西部方面混成団長に対して、航空機による情報収集及び人命救助等に係る**災害派遣要請**。

09時30分 防衛省関係幹部会議を開催。

②活動部隊の状況

【28日(水)】

<活動概要>

1 人命救助

- ・ 陸自西部方面特科連隊第4大隊(福岡県・久留米)(約30名)、第4施設大隊(長崎県・大村)(約40名)、第4高射特科大隊(福岡県・久留米)(約60名)が孤立者の救助活動を実施。

- 2 鉄工所の油流出対応
 - ・ 海自佐世保地方隊（長崎県・佐世保）（約20名）が、鉄工場の油漏れ対処のため、オイルフェンスを設置。
- 3 物資輸送
 - ・ 陸自第4施設大隊（長崎県・大村）（上記1の部隊）が食料等を輸送。
- 4 情報収集活動
 - ・ 陸自第4通信大隊（福岡県・福岡）等（約10名、ドローン・カメラ）の地上映像伝送チームが活動。
 - ・ 陸自第4飛行隊（佐賀県・目達原）OH-6×1が活動。
 - ・ 陸自西部方面ヘリコプター隊（佐賀県・目達原）UH-1×1が映像伝送を実施。
 - ・ 空自新田原救難隊（宮崎県・新田原）U-125×1が活動。

【29日（木）】

<活動概要>

- 1 病院支援
 - ・ 陸自西部方面特科連隊（16名・久留米）が順天堂病院の周辺に土嚢を設置。
 - ・ 海自佐世保地方隊、陸自西部方面特科連隊が、病院スタッフ・DMAT・配水ポンプ修理業者、水、食料をボートで病院まで輸送。
- 2 鉄工所の油流出対応
 - ・ 海自佐世保地方隊（約20名）が、油吸着マットの設置・回収を実施。
- 3 人命救助
 - ・ 陸自約175名の要員（西部方面特科連隊（約75名）、第4高射特科大隊（約60名）、第4施設大隊（約40名））が、武雄市～大町町一帯で人命救助活動。
- 4 給水支援
 - 西部方面特科連隊（水トレーラ1両）が武雄市内で給水支援（120リットル）を実施。（その他、給水車5両（陸自第4師団（福岡）3両、空自西部航空方面隊（春日、高良台）2両）が武雄総合庁舎に到着済。）
- 5 情報収集
 - ・ 陸自第4通信大隊・第4偵察戦闘大隊（福岡）の地上映像伝送組が多久市で活動。
 - ・ 陸自第4偵察戦闘大隊（福岡）（ドローン）が武雄市で活動。
 - ・ 陸自西部方面ヘリコプター隊（目達原）UH-1×1が、映像伝送を実施。

【30日（金）】

<活動概要>

- 1 病院支援
 - ・ 陸自要員約40名（第4施設大隊、西部方面特科連隊）が、病院スタッフ・DMAT・配水ポンプ修理業者、水、食料、レンタルトイレを大型トラックで病院まで輸送。
- 2 鉄工所の油流出対応
 - ・ 約290名の要員（陸自第16普通科連隊、西部方面特科連隊、第4高射特科大隊、海自佐世保地方隊、空自西部航空方面隊）が、引き続き、油吸着マットの設置・回収を実施。
 - ・ 内閣府（防災）の依頼を受けて、油吸着マット（1万4千枚）を陸自の車両（東部方面隊、西部方面隊）及び空自C-2輸送機（美保）により、埼玉県の工場から現地に輸送（8月30日17:28到着）。
- 3 給水支援
 - ・ 陸自西部方面特科連隊（水トレーラ1両）が武雄市内で給水支援を実施（その他、

給水車5両（陸自第4師団（福岡）3両、空自西部方面航空隊（春日、高良台）2両）が武雄総合庁舎に展開）

4 廃棄物の集積支援

- ・ 陸自要員約45名（西部方面特科連隊、第4施設大隊）が、武雄市において家庭からの廃棄物の集積を支援。

5 情報収集

- ・ 陸自第4通信大隊・第4偵察戦闘大隊（福岡）の地上映像伝送組が活動。
- ・ 陸自第4偵察戦闘大隊（福岡）及び第4通信大隊（福岡）（ドローン）が活動。
- ・ 陸自西部方面ヘリコプター隊（目達原）UH-1×1が、映像伝送を実施。

6 入浴支援

- ・ 陸自西部方面後方支援隊（約20名）が大町町（1カ所：総合福祉健康保険センター）で入浴支援を実施（入浴実績26名）。

【31日（土）】

<活動概要>

1 油流出対応

(1) 鉄工所

- ・ 約310名の要員（陸自西部方面特科連隊、第4高射特科大隊、第16普通科連隊、海自佐世保地方隊、空自西部航空方面隊）が、引き続き、油吸着マットの設置・回収を実施。

(2) 六角川河口付近（有明海への流出防止）

- ・ 約25名の要員（陸自第4施設大隊、海自佐世保地方隊）がボートによる油吸着マットの設置等により有明海への流出防止対応。

(3) 油吸着マット輸送支援

- ・ 内閣府（防災）の依頼を受けて、油吸着マットを陸自の車両（東方、西方）及び空自C-2輸送機（美保）により、埼玉県の工場から大町町役場に輸送を実施（約1万5千枚輸送（8月31日17：20到着））。

2 廃棄物の集積支援

- ・ 陸自西部方面特科連隊（約35名）が武雄市において、第4施設大隊（約100名）が大町町において、家庭からの廃棄物の集積支援を実施。

3 生活支援

(1) 入浴支援

- ・ 陸自要員約50名（第4後方支援連隊、第8後方支援連隊、西部方面後方支援隊）が大町町（2カ所：総合福祉健康保険センター、公民館）及び武雄市（2カ所：朝日小、北方保険センター）で入浴支援を実施（入浴実績107名）。

(2) 給食支援

- ・ 陸自要員約10名（第4後方支援連隊、西部方面特科連隊）が大町町（総合福祉健康保険センター）において給食支援を実施（給食実績約200食）。

4 情報収集

- ・ 陸自第4通信大隊、第4偵察戦闘大隊、西部方面システム通信群及び第41普通科連隊（地上伝送及びドローン）が活動。
- ・ 陸自西部方面ヘリコプター隊（目達原）UH-1×1が映像伝送を実施。

【9月1日（日）】

<活動概要>

1 油流出対応

(1) 鉄工所

- ・ 約300名の要員（陸自西部方面特科連隊・第4高射特科大隊・第16普通科連隊、海自佐世保地方隊、空自西部航空方面隊）が、引き続き油吸着マットの設置・回収を実施。

(2) 六角川河口付近（有明海への流出防止）

- ・ 約25名の要員（陸自第4施設大隊、海自佐世保地方隊）が引き続きボートによる油吸着マットの設置等を実施中。

(3) 油吸着マット輸送支援

- ・ 内閣府（防災）の依頼を受けて、油吸着マット約4万5千枚を、陸自の車両（東方、西方）及び空自C-1輸送機2機（入間）により、山梨県の工場から大町町役場に輸送を実施中。

2 廃棄物の集積支援

- ・ 陸自西部方面特科連隊（約40名）が武雄市において、第4施設大隊（約90名）が大町町において、引き続き家庭からの廃棄物の集積支援を実施中。

3 生活支援

(1) 入浴支援

- ・ 陸自要員約45名（第4後方支援連隊、第8後方支援連隊、西部方面後方支援隊）が大町町（2か所：総合福祉健康保険センター、公民館）及び武雄市（2か所：朝日小、北方保険センター）で引き続き入浴支援を実施予定。

(2) 給食支援

- ・ 陸自第4後方支援連隊（約5名）が大町町（総合福祉健康保険センター）において引き続き給食支援を実施。

4 情報収集

- ・ 陸自第4通信大隊、第4偵察戦闘大隊・西部方面システム通信群（地上伝送及びドローン）が活動中。
- ・ 陸自西部方面ヘリコプター隊（目達原）UH-1×1が映像伝送予定。

③連絡員（LO）の状況

- 28日（水）、防衛省統合現地調整チーム（長：本省審議官級）5名を佐賀県庁に派遣（20時00以降順次到着）
- 連絡員（LO）派遣先（5カ所、22名）
 - ・ 佐賀県（5）：佐賀県庁、佐賀市役所、多久市役所、武雄市役所、大町町役場